

Windows 用 RS232C ツール 取扱説明書

1. 適用商品番号 : S01-1
2. 商品名 : RS232C ツール
3. 改訂番号 : 20090925



注意

- ・本書を良くご覧になり仕様内でご使用ください。
- ・使用する PC の能力により表示等に遅延が生じることがあります。
- ・免責事項はサイトをご確認ください。

4. 本商品特有の注意事項

- ・必須環境
 - OS : WindowsXP 以上
 - 必須コンポーネント: .net Framework 2.0 以上
 - 必須ハードウェア: RS232C ポート(USB-RS232C 変換を使用可)

5. 機能・性能概要

- ・バイナリー値またはアスキーコードによる RS232C 通信
- ・送信値のメモリー
- ・ビット表示
- ・RS232C ポートの詳細設定
- ・設定の保存と呼び出し

6. 各部機能説明



①設定－基本設定

RS232C ポートのパラメータを設定します。

スピード: 通信速度 110bps～115kbps(一覧表示にない場合は直に数値を入力で設定可。尚ハードウェアが対応していない場合は無効となります)

データ: 8ビット長または7ビット長

パリティ: なし、奇数、偶数(パリティビットの有無及び仕様設定)

ストップ: 1ビット、2ビット(ストップビット長の設定)

ポート: RS232C ポート番号

②設定－受信専用設定

受信時の動作を設定します。

受信モード: 連続、バイト数(受信表示部分にどのように表示するかを設定します。バイト数は指定したバイト数＝1フレーム で画面が次に更新されます)

受信停止機能: なし、フレーム数(フレーム数を指定すると設定したフレーム数を受信した場合に、受信動作を停止します)

③設定－送信専用設定

送信時の動作を設定します。

送信モード: 1回、定期、定期回数(設定した送信データをどのようなタイミングで送信するかを設定します。

定期及び定期回数での繰り返し間隔は PC の処理能力に左右されるため数十mS の誤差があります)

④設定－設定ファイル

設定した環境を保存及び呼び出しすることができます。

尚、受信したデータの保存機能はありません。

⑤受信表示－受信開始／受信停止ボタン

受信を受信専用設定に基づいて開始または停止します。

⑥受信表示－受信フレーム数

受信モードで設定したバイト数を1フレームとして、受信したフレーム数を表示します。

⑦受信表示－ウォッチエリア

受信した先頭を1として最大112バイト目までの任意の位置のバイトをピックアップしてバイト値とビット値で表示します。

⑧送信表示－送信開始／送信停止ボタン

送信データを送信専用設定に基づいて送信開始または停止します。

⑨送信表示－送信データ

送信するデータを設定します。

最大32バイトのバイナリー値を一括で送信できます。

尚、記入時にはバイトとバイトの間には空白を入れてください。

⑩送信表示－16進表記入力／文字表記入力

バイナリー値または文字で送信するのかが設定します。16進表記時は31や8Fなどを入力し、文字の場合はaやbと入力します。

⑪送信表示－送信データをボタンに割り付け

何回も使用するような値を1～12のボタンに割り付けることができます。

ここにチェックをいれ、各1から12の任意のボタンを押すと、送信データに表記されている内容が押されたボタンに割り当てられます。

チェックをはずし、1～12のボタンを押すと、割りつけられた値が送信データにコピー＆ペーストされます。

ボタン前のテキスト入力欄は、ボタンに何が割りつけられたかをわかりやすくするために自由に記入することができます。

7. 使用上の注意

(a) RS232Cポートの占有について

受信開始及び送信開始ボタンを押すことで、指定されたRS232Cポート(=COMポート)が占有されます。

もし、他のソフトウェアが既にそのポートを占有している場合は、エラーとなります。

また、占有状態時に他のソフトウェアが使用したい場合もそのソフトウェアはエラーとなります。

ポートの占有は受信停止ボタンを押すことで終了します。